

第4回 幕別町総合計画策定審議会 会議要旨

- 1 日 時 平成29年8月25日（水）午後7時00分～午後9時10分
- 2 場 所 幕別町役場3階 3－ABC会議室
- 3 出席委員 國安委員、清弘委員、宮本委員、高道委員、三田委員
三島委員、大谷委員、工藤委員、岡田委員、堀川委員、村田委員
谷地田委員、笹井委員、仙石委員、杉山委員、木藤委員、高嶋委員
大和田委員、岩谷委員、森委員、小澤委員、前野委員
折笠委員、細谷地委員、渡邊委員、西田委員
（欠席：鯖戸委員、木川委員、埴山委員、大西委員）
- 4 町出席者 山岸企画総務部長、山端政策推進課長、西明副主幹、西嶋副主幹、谷口副主幹、
鯨岡副主幹、佐々木主査
- 5 傍聴者 なし
- 6 会議要旨

(1) 開会

- ・ 笹井会長挨拶

【議事に入る前に第3回審議会の質問で回答保留としていた事項について西明副主幹より説明】

（事務局）

- 堀川委員から質問のあった、本町の平均年齢については、平成27年国勢調査によると、全町で「48.44歳」。旧幕別町の区域で「48.24歳」、旧忠類村の区域で「51.70歳」。

(2) 報告

① 部会長の決定について

西明副主幹より第1部会長は堀川委員に、第2部会長は埴山委員に決定した旨報告

(3) 議事概要

① 第6期幕別町総合計画基本構想（案）中間報告について

【資料1により、意見があった事項等で、修正をするものについて、説明。資料2により、中間報告について承認の決をいただく】

（事務局）

- 基本構想5ページ「(5)スポーツに親しむ町」において、出場したオリンピック名を記載してはどうかとの意見に対し、資料1①のようにオリンピック名を記載。

基本構想7ページ「まちづくりの基本理念」「(2)安全・安心なまち」において、「共に」と漢字で記載していたが、ほかの部分ではひらがなで表記しており、資料1②のとおり表現を揃える。

基本構想8ページ、基本目標1「協働と交流で住まいる」の項目の1つ目と2つ目を入れ替えてはどうかとの意見に対し、より大きな視点の項目が最初にあり、以降小さな視点のものが列挙されるという構成となっていることから、このままの順番とする。

基本構想8ページ、基本目標3「人がいきいき住まいる」の項目の3つ目で、ほかの項目では、NPO法人が入っていることから、「関係機関」を「NPO法人」とした方がわかりやすいのではないかという意見に対し、資料1③のとおり「ボランティア

やNPO法人、企業、関係機関と」という表現に改める。「関係機関」については、この項目が福祉施策を中心とした項目であり、道や国などの機関が関係することから、文言としては残す。

基本構想9ページ、基本目標4「豊かな学びと文化、スポーツで住まいる」において、「スポーツの全道大会を誘致して、幕別町をPRするといった文章を入れることができないか」との意見に対し、細かい部分に踏み込む内容であることから、基本構想ではなく、基本計画の中に盛り込むこととする。

基本構想9ページ、基本目標5「自然との調和で快適な住まいる」において、「国においても施設の老朽化、国土強靱化が言われており、また、災害に強いインフラ整備が言われていることから、「重点的かつ迅速に整備する」というような表現を盛り込んではどうか」との意見に対し、資料1④のとおり、修正する。一つ目の○で意見を受けて、後段部分の「整備の充実」を「計画的に整備を進める」という表現とし、3つ目の○で「大規模自然災害に備えた強靱な社会資本整備に努め、災害に強いまちづくりを目指します」と新たに項目を起こす。併せて「都市基盤」とあったものを都市部だけをイメージさせることから、「生活基盤施設」と表現を修正。

2つ目の○について、担当課と協議し、除排雪について、アンケートやワークショップあるいは日頃から意見が多い項目であることから、基本構想でも文章として記載した。

(以上の修正を含め、中間報告について承認)

② 第6期幕別町総合計画基本計画（案）について

【資料3について説明】

(事務局)

- 総合計画について、議論いただいているが、基本構想、基本計画、実施計画の3層構造で実施計画において具体的事業名が出るがイメージできないという意見があることから、参考資料として提供する。本審議会においてこの内容について議論するものではない。

③ その他

- ・事務局から次回日程と資料の持参を伝える。

(4) 閉会

以上